

# 目次

## 1 処理液の種類と構成

Prima	-----	1
-------	-------	---

## 2 処理仕様

標準処理工程	-----	1
--------	-------	---

## 3 処理薬品の安全な取扱い方

薬品の取扱い	-----	2
薬品の保管	-----	2
作業環境	-----	2
緊急手当	-----	2
廃棄方法	-----	2

## 4 補充量

基本補充量	-----	3
-------	-------	---

## 5 処理液の作り方

補充液	-----	4
タンク液	-----	4

## 6 処理条件の管理

処理温度	-----	5
循環量	-----	5
補充について	-----	5

## 1 処理薬品の種類と構成

Champion Prima 処理薬品はカラーペーパー用の薬品です。

品名	略称	包装単位	処理剤構成
発色現像補充剤	P1-R	10 ㍻用×6	1 剤×6
発色現像 スターター	P1-S	1 ㍻用×2	1 剤×2
漂白定着補充剤	P2-R	7.5 ㍻/10 ㍻用×4	1 剤×4
プリントリンス	P3-R	200 ㍻用×2	1 剤×2

## 2 標準処理工程

工程	発色現像	漂白定着	プリントリンス				乾燥
略号	P1	P2	P3-1	P3-2	P3-3	P3-2	DRY
温度(°C)	38(35) ±0.3	35±3.0					60~80
時間	45 秒	45 秒					

\* プリントリンスは、3~4 タンク構成が使用条件です。

### 3 処理薬品の安全な取扱い方

Champion 処理薬品は、安全を考慮し製造しておりますが、取扱いを間違えると危険を伴う場合がありますので、薬品の事故を防ぐ為、処理薬品の取扱いには充分注意をして下さい。

#### 薬品の取扱い

- 正しい使用方法でご使用下さい。
- 保護手袋、保護めがねを着用して下さい。
- 薬品を取扱った後は、充分に手を洗って下さい。

#### 薬品の保管

- 毒物劇物取締法で指定されている『医薬用外劇物』表示のある薬品は、鍵を掛けて保管しないと法律違反になります。
- 薬品は子供の手の届かないところに保管して下さい。

#### 作業環境

- 作業中は、窓を開けたり、換気扇を回して、充分換気して下さい。

#### 緊急手当

- 薬品が、目や皮膚に付いた時は、すぐに多量の水で充分に洗って下さい。
- 薬品を飲み込んだ時、または目に付いたときは、医師の診断を受けて下さい。

#### 廃棄方法

- 使用、未使用に関わらず、処理薬品を廃棄する場合は、産業廃棄物に該当し、直接下水または河川などに廃棄することは法律で禁止されています。
- 専門の廃液処理業者に処理を依頼して下さい。
- 処理薬品の空容器は、水で洗った後、産業廃棄物として処理して下さい。

## 4 補充量

基本補充量
-------

補充量は下表の通り決められていますので、正確に入力して下さい。

ロールペーパー1m当り

ペーパーサイズ	発色現像 P1-R	漂白定着 P2-R 7.5 <sub>ト</sub> ・10 <sub>ト</sub>	プリントリンス P3-R
127mm 巾	13.7ml	13.7ml・27ml	36ml
1 m <sup>2</sup>	108ml	108ml・216ml	280ml

処理温度 35℃

P1  
161ml/m<sup>2</sup>

P2  
216ml/m<sup>2</sup>

## 5 処理液の作り方

### 補充液

液名	調液量	調液方法
P1-R	10 リットル	温湯(25~40℃) 9.15 リットルを補充タンクに入れ、つづいて P1-R 剤 1 本を入れ、かくはん棒で良くかくはんします。
P2-R	7.5 リットル	水 5.5 リットルを補充タンクに入れ、つづいて P2-R 剤 1 本を入れ、かくはんします。
	10 リットル	水 8 リットルを補充タンクに入れ、つづいて P2-R 剤 1 本を入れ、かくはんします。
P3-R	10 リットル	水 10 リットルを補充タンクに入れ、つづいて プリントリンス剤(50ml 用) 1 本を入れ、かくはんします。

### タンク液

液名	調液量	調液方法
P1	10 リットル	① P1-R(原液)を 800ml 用意する。 ② 水を 8.6 リットル加える。 ③ スターターを 600ml 加えかくはんする。
P2	7.5 リットル/10 リットル	溶解した補充液と同じです
P3	10 リットル	溶解した P3-R(補充剤)と同じです。

## 6 処理条件の管理

### 処理温度

処理温度は写真性能に大きな影響を及ぼします。特に発色現像液の温度は重要です。処理温度を正常に保つには、次のことに注意して下さい。

#### A 温度設定

設置時や基盤交換後の温度設定は、正確に入力して下さい。

	設定温度(°C)	管理限界(°C)
P1	35.0 又は 38.0	±0.3
P2	35.0~38	±3.0
P3	35.0	±3.0

### 循環量

循環量が不足すると、処理タンク内の液温に偏りを生じたり、写真性能に影響を及ぼしますので、次のことに注意して下さい。

#### A 循環フィルター

循環フィルターが目詰まりすると、循環量が減少しますので、月 1 回交換して下さい。

#### B 循環ポンプの故障、電気系統の断線による循環ストップというケースも考えられますので、循環の有無を確認して下さい。

### 補充について

補充液の補充は、処理の進行に伴って消費される薬品を補う目的で行われます。補充量は、処理量に比例した量が添加されるように設定します。補充量が、規定量に対して過不足すると写真性能が変化し、仕上がり品質に影響しますので、充分注意して下さい。

カラープロセンシングマニュアル

**Prima SPVR**

カラーペーパー用処理剤の使い方

**J P A C CO., LTD**